

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									
<b>Q-1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
<b>1.1 騒音</b>									
1 1.1.1 騒音									
1.1.1.1 1 暗騒音レベル									
1.1.1.1.1 2 隣室騒音対策									
1.1.1.1.2 2 遮音									
1.1.1.1.2.1 1 開口部遮音性能									
1.1.1.1.2.1.1 2 界壁遮音性能									
1.1.1.1.2.1.2 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
1.1.1.1.2.1.3 4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.1.1.1.2.2 1.3 吸音									
2 2.1 室温制御									
2.1.1 室温制御									
2.1.1.1 1 室温設定									
2.1.1.1.1 2 暖房機器・通気制御性									
2.1.1.1.1 3 外皮性能									
2.1.1.1.1 4 ゾーン別制御性									
2.1.1.1.1 5 温度・湿度制御									
2.1.1.1.1 6 個別制御									
2.1.1.1.1 7 時間・空間・人に対する配慮									
2.1.1.1.1 8 監視システム									
2.1.1.2 2.2 湿度制御									
2.1.1.3 2.3 空調方式									
3 3.1 光・視環境									
3.1.1 昼光利用									
3.1.1.1 1 昼光率									
3.1.1.1.1 2 方位別開口									
3.1.1.1.1 3 昼光利用設備									
3.1.1.2 3.2 グレア対策									
3.1.1.2.1 1 照明器具のグレア									
3.1.1.2.1 2 昼光制御									
3.1.1.3 3.3 照度									
3.1.1.3.1 1 照度									
3.1.1.3.1 2 照度均斉性									
3.1.1.4 3.4 照明制御									
4 4.1 空気質環境									
4.1.1 発生源対策									
4.1.1.1 1 化学物質汚染									
4.1.1.1.1 2 放射線対策									
4.1.1.1.1 3 大気汚染									
4.1.1.1.1 4 レジメンド対策									
4.1.1.2 4.2 換気									
4.1.1.2.1 1 換気量									
4.1.1.2.1.1 2 自然換気性能									
4.1.1.2.1.1.1 3 取り入れ外気への配慮									
4.1.1.2.1.1.2 4 給気計画									
4.1.1.3 4.3 運用管理									
4.1.1.3.1 1 CO <sub>2</sub> の監視									
4.1.1.3.1 2 喫煙の制御									
<b>Q-2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.1.1 1 広さ・収納性									
1.1.1.1.1 2 高度情報通信設備対応									
1.1.1.1.1 3 バリアフリー計画									
1.1.2 1.2 心理性・快適性									
1.1.2.1 1 広さ感・景観									
1.1.2.1.1 2 リフレッシュスペース									
1.1.2.1.1 3 内装計画									
2 2.1 耐用性・信頼性									
2.1.1 2.1 耐震・免震									
2.1.1.1 1 耐震性									
2.1.1.1.1 2 免震・制振性能									
2.1.2 2.2 部品・部材の耐用年数									
2.1.2.1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2.1.2.1.1 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
2.1.2.1.1 3 配管・配線材の更新必要間隔									
2.1.2.1.1 4 主要設備機器の更新必要間隔									
2.1.3 2.3 適切な更新									
2.1.3.1 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2.1.3.1.1 2 配管・配線材の更新									
2.1.3.1.1 3 主要設備機器の更新									
2.1.4 2.4 信頼性									
2.1.4.1 1 空調・換気設備									
2.1.4.1.1 2 給排水・衛生設備									
2.1.4.1.1 3 電気設備									
2.1.4.1.1 4 機械・配管支持方法									
2.1.4.1.1 5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.0</b>	0.29	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 空間のゆとり									
1 階高のゆとり				階高3000mm以上確保した			<b>3.8</b>	0.50	
2 空間の形状・自由さ							5.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり							2.0	0.40	
3.3 設備の更新性					<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17			
2 給排水管の更新性					3.0	0.17			
3 電気配線の更新性					3.0	0.11			
4 通信配線の更新性					3.0	0.11			
5 設備機器の更新性					3.0	0.22			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22			
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>						<b>0.30</b>			<b>3.8</b>
1 生物環境の保全と創出		G			<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		G		既存の緑地を可能な限り残した計画とした	<b>4.0</b>	0.20			<b>4.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮					<b>4.0</b>	0.40			<b>4.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	マツ間伐材を用いた	<b>4.0</b>	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		アスファルト面積を抑え芝生を敷き敷地内温熱環境の向上を図つ	<b>4.0</b>	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						<b>0.40</b>			<b>3.2</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>						<b>0.40</b>			<b>3.8</b>
1 建物の熱負荷抑制	W				<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
2 自然エネルギー利用					<b>3.5</b>	0.20			<b>3.5</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>3.0</b>	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S	寒冷地使用ヒートポンプを採用した	<b>4.0</b>	0.50			
3 設備システムの高効率化	W			高効率蛍光灯照明を採用した。	<b>4.8</b>	0.40			<b>4.8</b>
4 効率的運用									
4.1 モニタリング	W								
4.2 運用管理体制	W								
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>						<b>0.30</b>			<b>2.8</b>
1 水資源保護					<b>1.8</b>	0.15			<b>1.8</b>
1.1 節水	W				<b>1.0</b>	0.60			
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40			
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67			
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33			
2 低環境負荷材					<b>3.0</b>	0.85			<b>3.0</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>2.3</b>	0.35			
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>3.0</b>	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料	W				<b>3.0</b>	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18			
2.5 部材の再利用可能性	W			住戸部外壁の屋内側LGS地下採用した	<b>4.0</b>	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.3</b>	0.18			
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33			
2 断熱材	W				3.0	0.33			
3 冷媒	W				3.0	0.33			
<b>LR-3 敷地外環境</b>						<b>0.30</b>			<b>2.8</b>
1 大気汚染防止	W				<b>3.0</b>	0.10			<b>3.0</b>
2 騒音・振動・悪臭の防止					<b>3.0</b>	0.05			<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	0.33			
2.2 振動					3.0	0.33			
2.3 悪臭					3.0	0.33			
3 風害、日照障害の抑制					<b>3.0</b>	0.10			<b>3.0</b>
3.1 風害の抑制					3.0	0.70			
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30			
4 光害の抑制				広告塔を設置しない	<b>4.0</b>	0.05			<b>4.0</b>
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		<b>2.0</b>	0.30			<b>2.0</b>
6 地域インフラへの負荷抑制					<b>3.3</b>	0.40			<b>3.3</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30			
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10			
6.3 交通負荷抑制				適切量の駐車スペース確保・車回しを整備した	4.0	0.30			
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30			

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅				面積按分 総合スコア
		4,988 m <sup>2</sup>				
1	建物の熱負荷抑制	3.0				3.0
3	設備システムの 高効率化	4.8				4.8
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備					
3.5	昇降機設備	4.0				